

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 心理学基礎実習			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	専門科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
心理学調査の技術を習得し、自ら心理学調査を立案し、データを収集・分析し、得られた成果を社会に向けて公表する力を身に付ける。					調査、心理尺度、サンプリング、信頼性と妥当性、因子分析				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6.				
B 専門的技術			心理学調査を立案・実施する専門的技術を身に付ける。						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的に思考する力を身に付ける。						
D 問題解決力			問題を同定し、情報を収集・分析し、解決策を提案できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			目標のために他者と協調し、リーダーシップを発揮することができる。						
H コミュニケーション力			情報を的確にまとめ、わかりやすく説明・報告できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	40 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: 調査計画レポート(40%)と調査結果発表(40%)および調査実施に向けた貢献度(20%)に基づいて成績評価を行う。実際に調査計画を立案し、調査を実践するアクティブラーニングで学ぶ									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習: ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表は第8回と第15回に行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 中間期と期末にフィードバックする。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①心理学基礎実習のオリエンテーション(実習の進め方等について)				心理学的調査	30				
②心理学調査法1(データ収集の方法)				データ収集の方法	30				
③心理学調査法2(質問紙の作成法)				質問紙の作成	30				
④心理学調査法3(結果の処理方法)				結果の処理	30				
⑤心理学調査の計画立案				調査のテーマ	30				
⑥文献調査				調査テーマに関する文献調査	60				
⑦心理学調査計画発表の準備				調査計画の立案	60				
⑧心理学調査計画発表				調査計画の発表資料作成	60				
⑨予備調査の準備				予備調査の検討	30				
⑩予備調査の実施				予備調査の実施準備	60				
⑪質問紙の作成				質問紙の作成	60				
⑫心理学調査の実施				本調査の実施準備	60				
⑬調査結果の分析				結果についての文献調査	120				
⑭調査結果発表の準備				調査結果のまとめ	60				
⑮調査結果の発表				発表資料作成	120				
使用テキスト: テキストは不要。必要な資料等は授業時に提供します。				その他参考文献など: 鎌原・宮下・大野・中澤(編)心理学マニュアル質問紙法[北大路書房]					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): グループで協力して、自分たちの問題意識に基づいて、心理学的な調査計画を立案し、実際に実施してデータを収集し、結果を分析・報告します。グループへの貢献度も発表の評価対象に含まれますので、積極的に参加してください。アクティブラーニングで学びます。									